

Rotorflight 2.2.1

マニュアル

Rates編

レート・感度設定画面

RATES

著作権: ぱすとそに

運営: ぱすとそに工房

<https://postsoni.github.io/>

著作権・利用規約

本マニュアルの著作権は ぼすとそに に帰属します。

運営: ぼすとそに工房 (<https://postsoni.github.io/>)

【許可される利用】

- ・個人での閲覧・学習目的での使用
- ・YouTube等の動画での紹介・解説（収益化含む）
※動画利用の際は事前にお問い合わせよりご連絡ください

【禁止される利用】

- ・無断転載（SNS・ブログ等への全文コピー）
- ・商用目的での再配布・販売
- ・著作者名を削除しての二次配布

お問い合わせ: <https://postsoni.github.io/> (お問い合わせページ)

Rates画面の概要

Rates画面は、操縦の感度とレスポンスを設定する画面です。スティック操作に対して機体がどれだけ速く・強く反応するかを調整します。飛ばし心地に直結する重要な設定です。

初期設定について

重要 : Rotorflightの初期設定（デフォルト値）は、安全に飛行できるように設計されています。

初期設定の特徴	説明
控えめなレート	急激な動きにならないよう、穏やかな設定
適度なExpo	中央付近の操作がしやすい設定
安定性重視	墜落しにくい、扱いやすいバランス

【推奨】初めて使用する場合は、まずデフォルト値のまま飛ばしてみることをおすすめします。

1. Rate Profile (レートプロファイル)

6つのレートプロファイルを保存でき、飛行中にスイッチで切り替えることができます。

プロファイル	用途例
Profile #1	初心者・練習用（低レート）
Profile #2	通常飛行（中レート）
Profile #3	スポーツ飛行（やや高レート）
Profile #4	3Dフライト（高レート）
Profile #5	スケール飛行（超低レート）
Profile #6	予備・テスト用

【切り替え方法】 ModesタブまたはAdjustmentsタブで、AUXスイッチにプロファイル切り替えを割り当てる

2. Rates設定項目

Center Sensitivity (センター感度)

スティック中央付近での反応速度を設定します（単位：° /s）

調整	効果
値を上げる	中央付近で敏感に反応
値を下げる	中央付近でマイルドな反応

【用途】 ホバリングなど、スティックを少しだけ動かす繊細な操作の感度を調整

Max Rate (最大レート)

スティックを最大まで倒したときの回転速度を設定します（単位：° /s）

調整	効果
値を上げる	フルスティックで速く回転（激しい動き）
値を下げる	フルスティックでもゆっくり回転（穏やかな動き）

参考値

値	イメージ
200° /s	穏やかな飛行向け
360° /s	1秒で1回転（中程度）
500° /s以上	3Dフライト向け（激しい動き）

Expo (エクスponシャル)

スティックの反応カーブの曲がり具合を設定します（範囲：0～1）

値	効果
0	直線的（リニア）な反応
0.5以上	中央がマイルド、端で急激に反応

【用途】中央付近の繊細な操作をしやすくしつつ、フルスティックでは素早い動きを確保

3. 飛行スタイル別の設定目安

スタイル	Roll/Pitch Max Rate	Yaw Max Rate	Expo
初心者・練習	150～200° /s	200～250° /s	0.2～0.3
通常飛行	200～300° /s	250～350° /s	0.1～0.2
スポーツ飛行	300～400° /s	350～450° /s	0.05～0.15
3Dフライト	450～700° /s	500～800° /s	0～0.1

注意：これはあくまで目安です。好みや機体によって最適な値は異なります。

4. 調整のコツ

感じ方	調整方法
反応が鈍い	Max Rateを上げる
敏感すぎて操作しにくい	Max Rateを下げる
中央付近が敏感すぎる	Expoを上げる
中央付近がダルい	Expoを下げる or Center Sensitivityを上げる
端で急に動きすぎる	Max RateとCenter Sensitivityの差を小さくする

まとめ

Rates画面は「スティック操作に対する機体の反応速度」を設定する画面です。

【重要ポイント】

1. 初期設定は安全に設計されている - まずはデフォルトで飛ばしてみる
2. 最初は低めのレートから - 慣れてきたら徐々に上げていく
3. Expoを活用 - 中央を少しマイルドにすると操作しやすくなる
4. プロファイルを活用 - 練習用と通常飛行用を分けておくと便利
5. 少しづつ調整 - 一度に大きく変えず、少しづつ変えて飛ばして確認
6. 好みは人それぞれ - 他の人の設定を参考にしつつ、自分に合った値を見つける

【注意】

最初から極端な高レート設定にすると、操作が追いつかず墜落の原因になります。特に初心者の方は、デフォルト値から始めて徐々に調整することを強くおすすめします。

飛ばしながら好みに合わせて調整していくのがベストです！